

災害発生に関する注意事項

中央図書館でボランティア活動中に災害が発生したら、あなたはどのような行動をとりますか？

地震など自然災害がいつ起こってもおかしくない昨今、まさかの時に備えて、日頃の心構えや緊急事態発生時の行動について理解しておきましょう。

◆ 館内の掲示を確認しておきましょう！



中央図書館の各フロアには、このような非常口までの導線を示した避難経路図が掲示されています。



館内に設置された誘導灯です。非常口の方角を示す矢印に従って避難すると、非常口にたどり着きます。

◆ 災害が起こったら…

- 基本的には、一般の来館者と同様に行動します。（エプロンは外してください）
- 慌てて外に逃げださず、落ち着いて館内放送や職員の指示を待ちます。

地震のとき

- ・落下物から身を守るために、書架や窓から離れます。
- ・机や椅子の下で、姿勢を低くして揺れが収まるのを待ちます。



火事のとき

- ・火事を見つけたら大声で「火事だあ！」と叫んでください。
- ・防火扉や防火シャッターが閉まることがあるので注意します。

- 館外に避難する時は、職員の誘導に従います。エレベーターは使用できません。
- 煙が出ている場合があるので、姿勢を低くして口にハンカチ等を当ててください。
- 館外の最終避難場所は松原団地西口公園です。

◆ みんなで共有しましょう！

訓練の時は覚えていても、時間が経つとついつい忘れがちになる防災への心得。ひとりじゃなくて、他の会員の皆さんと時々確認するなどして、防災意識がしっかり身につくよう心がけましょう。

